



第21回伊賀市民美術展覧会（市展「いが」）



図 〇文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9694
 〇(公財)伊賀市文化都市協会 ☎ 22-0511 FAX 22-0512

3月18日(水)～22日(日)の5日間、伊賀市文化会館で市展「いが」を開催しました。

期間中は、入賞・入選作品と審査員などの作品を含む絵画部門48点、彫塑工芸部門43点、写真部門67点、書部門32点の合計190点を展示しました。市長賞作品と入賞者（敬称略）を紹介します。



写真部門
『異次元空間』
福岡 明日佳（平野六反田）

◆市長賞

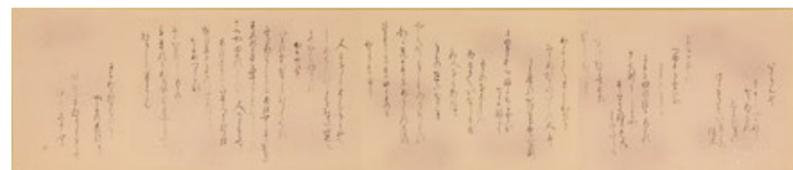


絵画部門
『雲海の山奥の村にも春の訪れ』
大島 勇（千歳）

◆市長賞



彫塑工芸部門
『血統』
坂口 弘三（音羽）



書部門『小倉百人一首のうた』 奥田 代子（桐ヶ丘）

	絵画部門	彫塑工芸部門
議長賞	『こっち向いて!』 福田 優衣（上野高等学校）	『スローライフ』 中村 翔蒼（伊賀白鳳高等学校）
教育委員会賞	『夢中』 今高 遥愛（比叡）	『温もり』 山本 路（丸柱）
ふんと理事長賞	『きれいだね!』 中岡 結子（予野）	『レザーカービング 屏風』 富岡 清美（千戸）
岡田文化財団賞	『偶像崇拜』 古川 綾花（伊賀白鳳高等学校）	『流るる時』 山岡 由奈（伊賀白鳳高等学校）
伊賀上野ケーブルテレビ賞	『夕散歩』 入交 紀恵（上野西大手町）	『まる』 小坂 洋子（亀山市（市内出身））
上野商工会議所会頭賞	『Spotlight』 竹住 友杏（上野高等学校）	『夢は集散』 森内 隆（ゆめが丘）
伊賀市商工会長賞	『笑顔』 井上 里菜（上野高等学校）	『伊賀花入れ』 川本 和（外山）
奨励賞	『吾輩』 嶋岡 永容（阿保）	『阿吽』 福永 泰治（柘植町）
	『可惜夜の狐』 眞栄田 咲季（伊賀白鳳高等学校）	『御茶用具』 米島 政清（出後）
		『一本の木から生まれた猫たち』 渡邊 智代（生流里）

	写真部門	書部門
議長賞	『光彩の先に』 駒田 直哉（陽光台）	『杜牧の詩』 中島 茜坡（下柘植）
教育委員会賞	『一瞬の煌めき』 西 秀樹（富永）	『小倉百人一首抄』 馬場 知江子（緑ヶ丘西町）
ふんと理事長賞	『飛翔』 福岡 資弥（岩倉）	『孟浩然の詩』 猪上 美粋（緑ヶ丘南町）
岡田文化財団賞	『波動』 藤森 繁信（古郡）	『杜甫詩 玉臺観』 村田 凜々花（奈良県橿原市（市内出身））
伊賀上野ケーブルテレビ賞	『忍者参上』 脇坂 大（桑名市（市内在勤））	『興福寺』 栗山 昭彦（奈良県天理市（市内在勤））
上野商工会議所会頭賞	『鉄火』 岸 則和（下友生）	『棧道飛雪』 吉藤 綾乃（伊賀白鳳高等学校）
伊賀市商工会長賞	『高原の輪舞』 松本 順子（名張市（市内出身））	『百人一首のうた』 稲森 政代（上之庄）
奨励賞	『苔の森』 川上 千津子（小田町）	『涸沢碑林を訪ねて』 松本 真理子（服部町）
	『もうへとへと』 林 佳代子（ゆめが丘）	『古今和歌集抄』 川端 真智子（緑ヶ丘本町）
	『姉妹』 和田 聖也（ゆめが丘）	『臨 玄妙観重修三門記』 森内 花那（上野高等学校）



伊賀市の組織を一部変更します



市役所



消防本部

図 〇総務課 ☎ 22-9601 FAX 22-9672
 〇消防総務課 ☎ 24-9100 FAX 24-9111

4月1日から、事務の効率化や最適な行政サービスの提供をめざして、組織の一部を変更します。
 ※市全体の組織名称と電話番号、主な業務の一覧は、別冊をご覧ください。

市役所

◆新設した課や室

変更後	変更前	変更理由
未来政策部	秘書広報課	事務の効率化のため秘書課と広聴広報課を統合します。
産業農林部	未来の山づくり推進課 獣害対策室	更なる事業推進のため、室を課に、係を室に変更します。
建設部	空き家対策課	
教育委員会事務局	教育施設課	

◆名称を変更した課

変更後	変更前	変更後	変更前	
未来政策部	行政改革課	産業農林部	産業政策課	商工労働課
地域力創造部	交流政策課		中心市街地課	中心市街地推進課
財務部	管財課		農業振興課	農林振興課
地域連携部	地域政策課	建設部	建設政策課	建設管理課
人権生活環境部	戸籍住民課		住民課	住宅政策課
	くらし安全課	市民生活課		
	資源循環推進課	廃棄物対策課		

消防本部

◆変更内容

【伊賀消防署】

- 「警防第1課」を「消防救助課」と「救急課」に分割
- 「警防第1課」の分割に伴う各分署の名称を変更
- 「救急課」に、平日の昼間に活動する救急隊「デイトタイム救急隊」を配置

◆デイトタイム救急隊

【運用時間】 月～金曜日（祝日などを除く。）

午前9時～午後4時

全国的に救急需要が増加し、市でも救急出動件数が年間5,000件を超え、高止まりの状況が続いているための対応策です。救急出動の約6割が昼間に集中していることから、救急車2台を伊賀消防署に配置し、現場到着時間の短縮を図り、救急体制の強化をめざします。



◆組織図

